

1. 単元名：「卒業式は花一杯ー卒業制作『プランターカバー作り』ー」

2. 単元概要

「自分たちの卒業式を自分たちで祝う！」ーそのような思いで2月からスタートした中学部3年生による生活単元学習である(小学部・小学校／中学校特別支援学級でも可能)。小学部6年生、高等部3年生にも声をかけ「卒業式」そのものを見直した(※レシピ領域『行事』にアップされている「卒業式ー自分たちの卒業式を自分たちで祝おう！ー」を参照)。その一貫として、高等部3年生は、中央にゆるやかで大きなスロープ＝花道を制作・設置することになった。その両端を菜の花プランターで飾ることになり、中学部3年生が「卒業生の花道」を彩る「菜の花とそのプランターカバー作り」を担うことになった。なお、菜の花プランターは大量生産し、体育館・校内各所に飾ることになった。

プランターカバーは立体物でもあり、一見すると難しそうにも見えるが、その構造を工夫することでシンプルな作りから、装飾性にあふれる芸術性の高いものまで様々なデザインが考えられる。また、木材の切断、焼き、磨き、ビスの補助穴開け、組み立て、塗装、装飾品の装着……子どもの得意に応じた様々な担当工程を用意でき、道具・補助具を工夫すればその包括性はかなり高まる。

並行して、大量の菜の花の栽培も行うことになり、「自分たちで祝う！」という卒業生の強い思いをアピールする「子ども主体の卒業式」となった。

3. 単元目標

- ①卒業式を自分たちで祝うという思いでプランターカバー制作や菜の花栽培に精いっぱい取り組んで「卒業式」を迎えてほしい。
- ②「自分で作る『卒業アルバム』」や教室や廊下の装飾等の関連活動にも取り組むことで、「卒業」の意味を考えたり、「卒業式」に向けての気持ちを高めてほしい。

4. 単元の日程計画

午前(10時～11時30分)	午後(13時30分～14時15分)
①50個のプランターへの土・堆肥入れと種まきを初日に一気に行う	①午前の続きを行う→栽培用のために、教室一つを温室化して開花時期を揃えることができるように子どもたちと管理した。
②50個のプランターカバーの制作に向けて、子ども・教師それぞれが分担して、プランターカバーを連日制作する。	②卒業アルバムの制作ー全員
③後半に入ると製作工程前半の作業はなくなるため、前半部分を担当していた子どもも後半部分の工程を担い、一気に仕上げていく。	③プランターカバーに装飾する記念ステッカー(ステンシルによる)『〇〇年度卒業生』の制作
④最後に『記念ステッカー』を全員で貼り付け、完成させる。	④教室装飾・廊下装飾
	⑤卒業式そのものの練習

5. ポイント解説

- ①卒業式前日の会場装飾も一般的には、在校生や教師の分担である。しかし、本単元は卒業生自らの手で(高等部制作のスロープ・花道、中学部の菜の花プランター、小学部6年生の手による体育館一杯の飾り付け…等)「自分で祝う」という思いがあふれる卒業式になった。
- ②保護者、来賓も含めて、子どもたちの中に育まれてきた「力」を実感できる感動的な卒業式になったことは言うまでもない。
- ③本レシピ「領域：行事」にある「卒業式ー自分たちの卒業式を自分たちで祝おう！ー」を参照

